



りも1ピッチのロープスケールがはるかに長い。

### Austrian Staircase - F6a ★★★

**Pitch 1 (F5+)** 12:25 小暮リード

フレックを掴んでダイナミックなムーブで登っていく。なかなか難しい。Tiggerのラインの1ピッチの確保支点を過ぎ、一段上がったところが終了点。

**Pitch 2 (F6a)** 13:00 小暮リード

体感5.10bくらいか。ワンポイントではなく、同じような難易度が30m続く。ラインが分かりづらく、最初真っ直ぐ登るが、そのまま行くと難しいラインにはまってしまうので、やや右へ逃げると正規ルート。チョークの跡が白くたっぷりついており、ホールドが分かりやすくなっていて助かった。ホールドが分からないとかなり苦戦するだろう。フォローの笹川は難しさに泣きが入るが、根性でトップアウト。ハイキングコースからよく見える位置なので、ギャラリーに見守られて登った。30mと長いラインのため、もってきたクイックドローを全て使う。

東面は、6aというグレードを考え、空荷で登って正解。シューズを背負っていないので、懸垂下降で同ルートを下降した。帰路は、バスで戻るが、降り口を間違えてしまい行きすぎてしまった。再度、戻り方向のバスに乗って戻る。駅前の黄大仙の寺を観光する。おみくじが日本とはかなり異なるやり方で全身を使ってくじをひく。見ているだけでやらなかったが、なかなか興味深かった。マルチピッチの岩場と観光と、充実した一日だった。

### 【新界／大帽山 (タイモウシャン) 957m：ハイキング】 5/3 (金)

クライミングが続き、疲れがたまっているのでハイキングとする。香港の最高峰の大帽山に向かう。天気予報では晴れのようなだったが、大外れで朝から結構な雨降り。この国の天気予報はあてにならない。MTR荃灣 (シェンワン) 駅に着くが、すごい雨。51番バスらしいのだが、バス停がわからず、駅前を行ったり来たり。なかなか見つけられず、スマホのバス停の番号を探したりしてようやく、駅前ではなく、駅を北に出た大河道 (タイホーロード) の右側にあることを確認する。しばらく雨ふりなので、駅前の市場を覗いたり、マクドナルドでお茶したりして時間をつぶす。雨が止んでバス停に着くと60分おきのバスが出たあとだった。これまで乗ったバスは、5分～10分おきに次々に出るので時刻表を全く気にしていなかったが、今回は勝手に違ったようだ。再びブラブラして時間をつぶし、ようやくバスで登山口へ向かった。

大帽山カントリーパークでバスを降りると、同じようなハイカーでいっぱいだった。10時40分出発。樹林帯の登山道を登っていくと、牛が放牧されたのどかな丘に出た。ここから気象レーダーが立つ山頂が良く見えた。



背後に大帽山

1時間程で、登山道は車道に合流する。ここまで自家用車で来こともできるようだ。ゲートの先からは一般車は入れないが、レーダー施設があるため山頂まではずっとつづら折れの舗装道路となる。ところどころショートカットして登っていく。

12時25分。山頂着。山頂には広大なレーダードーム施設と敷地が広がっていて、関係者以外立入禁止となっており興ざめ。特に山頂の道標などもなく、ゲートのある施設入口で引き返すことになる。香港最高峰でもあるし、ハイカーも多いのだから、もう少し休憩所を置くとか考えてほしいものである。展望が良いところで休もうと、道を外れて岩の上で昼食とする。往路を戻りバス停まで着くと、タッチの差でバスに間に合わず1時間待ち。14時下山。登山口近くのビジターセンターに行ってみるが、冷房がなく蒸し暑いので登山口のバーベキュー場のあたりを見て回ったりして過ごした。

#### 【東龍洲：クライミング】 5/4 (土)

東龍洲(トンレンチュウ)は香港島の東にある離島で、海岸の崖でクライミングができるというので、今回の旅行ではどうしても行ってみたいところであった。フェリーは土日のみ運航のため、4/28の日曜日に行こうとして天気が悪くてやめていたのである。MTR 西灣河(サイワンホー) 駅から、フェリー乗場に行くが、少々早く着きすぎてしまい、しばらくフェリーを待つ。船着き場は、チャーター船に乗る釣り客が結構利用しているようだ。我々の乗るフェリーも、小さな船でキャンパー、ハイカー、クライマーを乗せ、9時の始発便に乗る。今日はやや風があるので、船の上は結構寒い。薄手のパーカーを羽織るがそれでも寒く、合羽を重ね着する。船賃は格安で、往復55ドル(800円弱)である。船はゆっくりと進み、高層ビル群を海から眺めて、ショートトリップを楽しむ。40分ほどで、船は東龍洲へ着き、2回接岸するので2回目のキャンプ場に近い船着き場で下船する。

栈橋から上がると、食堂があり、すぐ奥がキャンプ場となっている。キャンプ場を抜け、海岸に回るとテクニカルウォールという岩場に着いた。今日は、曇りで風も強いせいか、波しぶきも激しい。岩場は城ヶ崎海岸のようなイメージで傾斜がつよく被り気味の難しいルートが多いように見える。易しいルートは右側にあるが、モロに波しぶきが足元に押し寄せているので、ちょっと取付く気にはならない。左壁に5のグレードの易しいルートがあり、よく見ると、トポには出ていないルートがその左側に3本ある。いずれも易しく4位のグレードに見えたので、取付いてみる。



テクニカルウォールエリアを登る



人気ルート Green Slab

いずれも易しく4位の